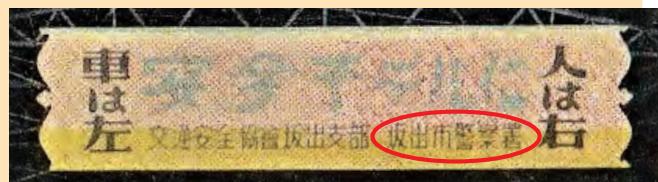


再 さかいで 発見! vol.7 最終回

「古写真のおもしろさ」

今回は古写真のおもしろさを知っていただくために、以前掲載した昔の本通り商店街の写真を用意しました。撮影時期は昭和30年頃と言われていますが、正確な年月日はわかりません。しかし、年代を絞り込むためのヒントがこの写真の中に隠されています。

まず、写真左に注目してください。1953(昭和28)年8月に公開された映画「鞍馬天狗と勝海舟」の看板ですが、本市でも同時期に上映されたかどうかは不明で、これだけで断定することは早計です。そこで、もう一つのヒントが中央看板の標語です。日本で「車は左、人は右」になったのは、1949(昭和24)年11月から(それ以前は車も人も左側通行)です。そして、この看板をさらに拡大すると別のヒント、「坂出市警察署」の文字が見て取れます。



「坂出市警察署」



1948(昭和23)年3月、日本の警察制度は国家地方警察と市町村自治体警察の二本建てになり、本市も従来の坂出警察署内に「国家地方警察綾歌地区警察署と坂出市自治警察署」が発足し、1954(昭和29)年7月1日に廃止されるまで坂出市警察署と呼ばれていました。

上の時代より少し前に撮影されたと思われる市警察署時代の写真がありますが、商店街入り口の鉄骨アーチの形は同じです。

加えて、通行人の服装等から季節は明らかに夏です。したがって最初の写真は、少なくとも①映画が公開された昭和28年8月～

市警察が廃止される翌年6月末までに撮影され②季節は夏、という条件を満たす時期となれば、やはり映画上映された1953(昭和28)年の8月頃ではないかと推察されます。

ところで「さかいで再発見」は今回が最終回ですが、皆さんのご家庭に眠っている、坂出の昔の風景や行事等を写した貴重な写真や資料等がないか、機会があれば探して見てください。

※参考文献「坂出市史」 資料提供：坂出市立大橋記念図書館、宮本 義行氏

編集後記

20年以上、地元・少年剣道会のお世話をさせていただいているが、剣道には大事な規則があります。例えばスポーツでよく見られる「ガッツポーズ」ですが、剣道では試合において旗が上がり勝敗が決まつても、選手がそのポーズをしてしまうと負けになります。相手を思う心です。また試合において、同じ「胴」を決めても「残心」つまり、次の攻撃への心構えがなければ無効とされてしまいます。

政治の世界にも同じことが言えます。「政治には心こそ大切なり」の信念のもと32年間務めてきた議員生活ですが、平成の終わりとともにこの春で卒業します。これからは気持ちを新たに、一市民として、坂出市勢の発展にお力添えができればと考えています。

「令和」の時代が皆さんにとって幸多き時代であるよう願っています!! (松成)

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……若杉輝久
委員……東原 章 鳥飼年幸 村井孝彦
出田泰三 松成国宏 楠井常夫

次回開催は…

5月臨時会を5月中旬に、
6月定例会を6月中旬に
開催予定です。

